

農とくらしの多様なつながりから考える 持続可能なくらしと地域

世界の人口が増え続ける中、日本では、人口が減少し急速なスピードで少子高齢化が進んでいます。食に目を向ければ、およそ6割を外国から賄いながらも、まだまだ多くの食べものが捨てられています。また地球温暖化が影響しているとも言われる異常気象は、農業にも深刻な影響を与えています。今あるくらしを見直し、よりよく暮らしていくために。コープこうべ第2地区本部では、持続可能な社会に向けた、場作り、人作りを目的に本講座を実施します。

スケジュール

2025年4月17日～2026年2月26日の木曜日 9時30分～12時実施（夏期：9時～11時30分）

講義：15回（主に第2木曜、月に2回の時もあります）

実地実習：15回（畑・田んぼ・社家郷山などでの実習）

その他、自由参加（補習）の実地実習日もありますので、栽培技術を身につけたい方、より多く土や野菜に関りたい方はぜひご参加ください。

（実施月と講義 / 主な実地実習内容）

4月	開講式 オリエンテーション / 米苗作り	10月	米と麦：二毛作と生物多様性 / 稲刈り、脱穀
5月	山とのつながり 兵庫県の林業の現状 / 間伐体験	11月	畑の環境改善と落ち葉の活用 / 麦の種まき、サツマイモ収穫
5月	くらしの循環 竹パウダーコンポスト / 夏野菜植え付け	12月	再生可能エネルギーとSDGs / 大豆収穫、しめ縄作り
6月	田んぼの役割と水のつながり / 田植え、大豆の苗作り	1月	アウトプット イベント企画 / 大豆選別、堆肥作り
7月	山と農地の植生（植生調査） / 野草の観察、大豆植え付け	1月	エシカル消費 / 冬野菜栽培振り返り、麦踏み
8月	海とのつながり 兵庫県の漁業の現状 / 冬野菜苗作り	2月	地域活性化（事例紹介） / 活動の振り返り、味噌作り
8月	冬野菜栽培計画、夏野菜栽培振り返り / 畝立て、苗作り	2月	修了式 これから取り組んでいきたいこと
9月	固定種と交配種 / 種とり、道具メンテナンス	3月	イベント出店予定

実地実習

- 夏野菜栽培/冬野菜栽培（耕耘、畝立て、種まき/苗作り、草管理、水やり、収穫、撤収など）
- 米作り体験（種まき/苗作り、代かき、田植え、草引き、稲刈り、脱穀、しめ縄作りなど）
- ポカシ肥料作り、堆肥作り、草刈りなどは、随時必要に応じて作業します。
※農薬や化学肥料は使用しません。
- 社家郷山での間伐体験

問合せ・申込み

受講・見学をご希望の方はこちらからお申し込み下さい

有限会社 Kuse○Farm（クセマルファーム）

担当：久世（クセ）

TEL：070-9098-2398

E-mail：info@kusemarufarm.com



有機農業をベースに、生産者と消費者のより良い関係をつくる CSA（Community Supported Agriculture：地域支援型農業）を展開。山と海をつなげる農業の役割に着目し、次世代のみならず多くの世代に向けた農学的学びの機会を提供しています。

実施場所

農地：西宮市鷺林寺2丁目

（阪神バス甲山墓園前より徒歩8分）

講義は、農地や近隣施設、西宮市内会議室で行います。



活動フィールドでもある社家郷山は、生物多様性保全上重要な「里地里山500」（2015年環境省）に選ばれ、「ひょうごの森づくり活動賞」（2019年、兵庫県）、全国育樹活動コンクール「林野庁長官賞」（2023年、国土緑化推進機構）を受賞しています。また、本講座はSDGsとも関連付けて取り組んでいきます。

※主に関連する目標↓

